常磐毎日新聞
日刊
三月八日夕刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣平市長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は北の風曇
明日は北西の風曇後晴

災害防止と
增産計劃遂行のため
平市か湯本に
鑛山監督局出張所
常磐地方に設置と決定

國力充實の觀點から各鑛山の增産計畫は關係各廳の積極的援助、努力により著々と進捗を見せてゐるが、不時に起る鑛山の**災害は**唯一ヶ所の損害で增産數字を張消しにしてしまふ不幸を招來するので當局に於ては鑛山災害の發生は最も怖れて居りその結果商工省では昭和十三年度を期して各鑛山の增産計畫の助成に乘出す一方積極的に**鑛山の**災害防止に万全を期すこととなり所要の新規豫算を計上することになつたが、この豫算が通過すれば先づ各鑛山監督局管內の重要個所に出張所が新設されて災害防止、現地指導、並に增産**計劃が**なされることになるもので設置個所は第一段階として全國約七ヶ所の炭礦地方に設けられる豫定で仙臺鑛山監督局管內は一ヶ所に決定銳意準備を行つてゐるが地理的關係その他から該出張所は常磐炭礦地帶とほぼ決定して居り結局平市か湯本に設置される**模樣で**監督局では極秘裡に候補地の選定を行つてゐる

公益質屋は
愈よ實現確定化
平市豫算修正可決

平市十三年度豫算を審議すべき豫算委員會は昨日午前十時から市會議事堂に於て荻原氏を委員長とし逐條審議を重ね午後七時迄繼續したが時節柄堅實味濃厚な靑沼財政を認めて修正は原案と大差なく八日午後二時半より本會議を開き荻原委員長より修正案の說明あり滿場一致修正通り可決したが是れに依つて一時危い運動を見た公益質屋の實現も愈よ確定化されるに至つた、修正個所は左の通りである

（增の部）歳出經常部に於て役所費の市長給料二千百圓を二千四百圓に、助役給料千五百圓を一千八百圓に各增俸傳染病豫防費の血淸購入卅圓をワクチン劑配給等の準備として百圓に增額、勸業費の家畜家禽傳染病豫防費廿円を七十圓に、豫備費の八千九百円を九千百廿五圓に增し同臨時の補助費農會補助七百四十圓を九百圓に、また軍人の分會補助六百五十圓は七百五十圓に、果樹組合の五十圓を三百圓夫々增額し歳入に於て平窪側からの汚物掃除受益者負擔の二百二十圓を見込む

（減の部）歳出經常部の役所費書記以下の給料三萬二千八百卅二圓を三萬二千二百卅二圓に減し衛生費の平窪診療所新設は國民保健法の實施を待つ事として一時見合せとなり五百五十圓の減、警備費の交際費三百五十圓を二百五十圓に減

尙其他は全部原案を認めたが右に依り總豫算額四十二萬一千一百八十円は四十二萬一千卅九圓に修正され此外特別會計として公益質屋の六萬六千五百七十三圓がある譯である

小名濱町の
陸軍記念日

小名濱町では來る十日の陸軍記念日に際し午前七時半から同町小學校庭で補充兵の演習を行ひ同九時から忠魂碑前に集合參拜後十時から同町鎭座諏訪神社で出征兵の武運長久祈願祭を執行する

平窪部落有財産
圓滿裡に平市へ
此程引繼を結了

平窪村が平町に合併の爲め村制解体の際村有の資産一萬六百六十四圓十五錢は部落有財産に改め草野元村長管理して居つたが此程圓滿裡に全額を靑沼市長に引繼ぎ其內二千圓を公會堂の寄附金に充當した尙殘額は平窪側の公共事業に投ずべき旨の條件が附されて居るが引繼財産の內譯は左記の如くである

（現金）五千五十円七十錢、（債劵）二千五百五十圓、（磐城銀行預金）三千九十三圓三十八錢

三驛長榮轉

東京鐵道局管內の職員異動は七日發令を見たがその結果泉、湯本、植田の三驛長は左の如く夫々榮轉することになつた

泉驛長 山崎仲治
磯原驛長
植田驛長島田竹松
湯本驛長庄司佐藏
水戶運輸事務所庶務係勤務（各通）
（尙後任は）
泉驛長 岩間驛長友部弘勇
勝田驛長平野新三郎
湯本驛長 茂木驛長富山盛壽
植田驛長

電話線泥に
即決で懲役十月
けふ平區で求刑通り

警戒を尻目に大膽にも遞信電話線二千數百米を窃取した內郷村白水字白畑居住安積郡片平村生れ元炭礦坑夫岡部智義（二七）に係る窃盜並電信法違反事件の公判は今八日平區で中谷監督判事係り大脇檢事立會の下に開廷求刑通り即決で懲役十ヶ月の判決を言渡された

船匠講習
九日から三週間

郡下水産會主催の船匠講習會は九日より三週間小名濱水産會樓上に開催されるが講師は大日本水産會漁船々員養成所技師橋本德壽氏である

被害酌婦は窃盜
親娘は不法檻禁
私刑事件檢事局へ

慘虐な私刑事件として注目を惹いた抱酌婦虐待の內郷村大字綴字一ノ坪五一料理店松の屋こと齋藤テフ（五〇）同娘セキ（一六）—假名並に內縁の夫四家鍋松（五九）の親娘三人は平署の取調べが一段落ついたので〃不法檻禁暴行傷害〃として七月平檢事局に一件書類と共に送致されたが一方被害酌婦金子ヨシ（一六）は其後取調べを行つてゐたが同人が前後十數回に亙つて主人同僚及び客から現金百五十餘圓を窃取した事判明今八日一件書類と共に身柄を送檢された

編物講習會 大日

本編物研究會主催毛糸編物講習會は七日より四日間小名濱成章女學校に於て開催、毎日午前十時より午後四時迄を講習時間として課目としては標準寸法の割出方各種編み方圖解講義、メリヤス、ガーター新各種模樣編等で女學生や若い婦人方に非常に期待されてゐる。尙講師は東京大日本編物研究會特派長谷川恭三氏山田美津惠女史である

果樹組合運搬費
新たに市補助に繰入
市長には三百圓增俸

市豫算委員會は七日午前十一時から市會議事堂に開き歳入四十二万一千百八十圓が四十二万一千三百九十圓（二百十圓）の增額これは果樹組合運搬費が市補助となつた結果歳出では市長の俸給二千百円が二千四百圓助役千五百圓が千八百圓の增給料費（平窪出張）五百五十円が五百四十五円減額を見た補助費の主なるものは四千六百八十圓が五千百九十円（五百十円）の增額となり內譯左の如し

△農會九百円（七百四十円）
△軍人分會七百五十円（六百五十圓）
△果樹組合三百圓（五十圓）

で八日午後二時から荻原議員よつて報告された

稻作生産の確保
銃後食糧の供給に萬全
石城郡農會に通牒を發す

石城郡農會では銃後農村最大の責務として稻作出産確保を叫び今回の事變が直接間接に農村に及ぼした影響は少なくなくこのままでは農業生産の前途に危惧の念を抱かしめるものがあることを惧れ食糧並に各種農産資財の供給に不足なからしめようと云ふ縣の通牒に接したので勞力不足肥、料生産供給の不圓滑價格の騰貴を克服して銃後食糧の供給に不足なからしめるため同會では近く左の如く郡下各町村に通牒を發することになつた、

一、農繁期勞力の平均化、早春耕耘に着手し稻作の準備をすること
二、勞力畜力不足には勤勞奉仕班その他の施設の下に耕牛馬班の組織、貸牛馬の地域的移動の圓滑畜力利用機關の平均化
三、共同苗代設置排水共同管理病に害防除挿秧その他の共同作業を行ふ
四、勞力不足虫は早、中、晩稻の選擇組合せに注意し植付けその他に按配する
五、田植の遲延には苗代面積擴張
六、水田二毛作冬作には雪消排水中耕等につとめる

なほ今冬は積雪又は農作物の被害苗代作製遲延の憂ひあり對策を必要とする

陸軍記念日の
講演會
九日世界館で

事變下に迎へる陸軍記念日に福島聯隊區司令部では記念講演會を開催することになつたが平市は九日驛前世界館に於て開き講演者は司令部藤井中佐である

四十餘年目で
「目出度く解決」
紛擾の安立寺（玉川）
檀家と和睦成る

玉川村大字岡小名にある名刹安立寺は六百年前日蓮上人の門弟辨上人が開祖したが四十數年前檀家と住職の間に紛爭が起り一昨年現住職渡邊文榮師が來る迄は中野喜松氏外一名檀家しかなかつたその後續々檀家が戻る樣になつたが同寺に百円を貸してあると云ふ理由で五ヶ年間二十數俵の寺の小作米を取つてゐた小名濱町中野勇氏は將來の小作米を寺に寄附する事を信者である平市一丁目飯田近治氏外二名を介して八日平署人事相談所に願ひ出四十數年間紛爭を續けてゐた同寺の財産が円滿解決したものである

判決!!!懲役一年
但執行猶豫三年
赤井元收入役に寛大な處置

既報〃業務上橫領罪〃で懲役一年を求刑された元赤井村元收入役同村大字赤井字田町三二矢野淸市（四六）に係る判決公判は七日午後一時から平區に開廷されたが公金千八百圓を橫領生活費に費ひ込んだとはいへ情狀酌量の點があるとて淺野判事から懲役一年但執行猶豫三年間といふ寛大な判決を言渡された

鐵管ドロ
二件とも原審通り

平市大町古物商橫田平藏（六二）に係る窃盜並に贓物故買事件の控訴公判は五日福島地方裁判所に開廷されたが原審通り懲役八ヶ月罰金二十圓二年間の執行猶豫、又市內正月町鐵工業佐藤次郎（四二）に係る贓物故買事件の控訴公判も同日同廷に開廷されたがこれまた原審通り懲役三ヶ月罰金三十圓二年間の執行猶豫を各言渡された

入學志願者受付
八日現在三校で六十名

平市內各中等學校に於ける新學年度の入學志願者數は今八日現在で

▲磐中　一五
▲平商　一九
▲磐女　二五

に達つしたが平商の如きは神奈川、靜岡兩縣を始め遠く奉天千代田小學校から飛行郵便で願書が舞込むなど係員を驚かしてゐる

訂正

昨報四月醫學會で多血症は骨髓の疾患であるとの新學說を發表し絕讚を博した松村享醫學士は平市南町松村醫院長松村鐵郎氏の令弟の旨報導せるも令息の誤植に就き訂正す

豚の丹毒豫防注射
小名濱發

豚組合では四日豚丹毒の豫防注射を行つた

中村牧師の
母堂逝く
葬儀は九日

平市十五丁目日本基督教會牧師中村月城氏の母堂ゑ美子嫗は八十四才の高齡を以つて七日午後二時二十分永眠した、葬儀は九日午後二時同教會に於て執行する由

体操研究會 石城

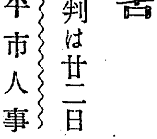
第三區第一方部小學校教員の体操研究會は七日好間小學校に開かれた

汽車往來妨害
第一回公判は廿二日

既報線路上に自轉車を橫へ列車の妨害を圖つた犯人双葉郡熊町村大字夫澤字荒戶澤炭燒業糸井乘治（三五）に係る〃汽車往來妨害罪〃は七日豫審終結平支部の公判に附されたが第一回公判來る二十二日午前九時から中谷裁判長係り富澤檢事立會で開廷される事となつた

平市人事
回出生

△上平窪原田一〇農金成淸氏長女一子さん



今晩の部

▼後七、四〇 講演「獨伊の印象」中野正剛
▼後八、〇〇 詩歌朗詠 岩宮榮路外
▼後八、三〇 輕音樂マンドリン合奏「伊太利少年行進曲」グルウ・マンドリン・アンサンブル
▼後八、五五 オペレット「マスラタケオ」淸水靜美外
▼後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼後六、〇〇 お話「伊藤博文少年時代」河野道
▼後六、二五 講演「北支の經濟調査を終りて」谷口吉彥
▼後七、四〇 講演
▼後八、〇〇 ヴアイオリン獨奏「奏鳴曲」高階哲夫
▼後八、二〇 尺八「岩淸水」倉川瀨山
▼後八、三〇 皇軍慰問報告演藝 わらわし隊

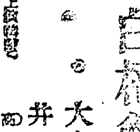
產婆看護婦
生徒募集
願書締切 四月六日
修養年限 兩科を通じ一ヶ年
平市元一丁目
新築校舍、平市搔揚小路
石城 產科婦 看護婦 學校
校長 鷹崎千代
電話三五七番

生徒募集
磐城佑賢學舍
▼中等科——中堅公民の養成
▼專修科——受驗難關の突破
『無試驗入學許可』
▼軍事教練の實施
▼商業簿記科の特設
古教科書半額以下の譲渡斡旋
平市城山 電話九三

三十三回 生徒募集
非常時日本の女性に!!!
婦人の職業として、家庭の衛生學として產婆看護婦をお奬め致します。それには成績の最もよいと定評ある……。
平南町 產婆看護婦學校へ！
△申込みは成るべく早く
△新學期の開始は四月八日より
平產婆看護婦學校
校長 淸野キヨ
電話（三〇七番）

◎此程……開店致しました
何卒御贔屓に願ひます
御料理 一良久
平市田町（元照よし跡）
電話三九九番

拜啓 愚父龜松儀永らく病氣療養中の處遂に藥石効なく八日死去仕り候間茲に紙上を以て生前の御厚誼を謝し併せて御通知迄申上候
追而埋葬の儀は十日午後二時自宅出棺佛式に依り擧行致すべく候
尙北支に出征中の末弟源水には故人の遺志に依り喪を秘す事に致し候間御含み被下度候　敬具
昭和十三年三月八日
石城郡神谷村上神谷
嗣子 神谷市郎
男 神谷淸水
親戚總代 神谷富五郎



白柄劍颶達
大島多慶夫作
井川洗涯畫
布施長春畫
村瀨春映畫

……三八四……
紀州脫走【六】

天地は闃寂として遠く岸に碎ける浪の音さへ聞える。月の蝕はますく冴えて、蒼い闇に夢の世界のやうに附近一帶の平野を包んでゐる。五左衞門は自分の隱れ家をそれとなしに物色して見た。もう二三丁の間近に例の茶店が、大きな猶猴のやうな恰好に見えた。その彼方の高い森、それは彼の名高い紀三井寺の札所が、チラくと寺の山裏からもれる灯の影で認められた。

『ヤッと家へついた』

と、五左衞門はホッと安堵の息を吐いた。

もう眼には待兼てゐるお柳の姿が、嫣やかに、艶、和歌の浦に催された鐵砲隊の發射の模樣を語らうとしてゐる容子が、アリくと見えたのであつた。

五左衞門は畝から街道へ上らうとした。すると、何處からか跫合ふ聲が聞えて來る、ハッとしてまた五左衞門は身を並木の畝のところへ隱した。

跫音。それが次第に、城下の方から和歌の浦街道を進んでくるらしくひゞく、五左衞門の敏感な頭腦に、それが何となく重大性を帶びてゐるやうに聞きとれたのであつた。

果して、松並木を縫つて、二つの黑い影が動いて來る。

『つまり、その何だ。根來寺の方へ公儀の水の手が廻つたのかも知れない』

からしたことが、はつきりと五左衞門の耳へ入つた。だから、この人間は紀州藩のものであるといふ證據が、五左衞門の胸間へ閃く感じた。

『しかし、どうして[illegible]したといふことが公儀に判つたらうな』

またこんなことを話すのが、五左衞門の耳に入つて來た。

『うむ！ いよく紀州藩の役人らしい、何處へ今ごろ行くのだらう』

と、五左衞門は不安さうに、また好奇心に耳を澄まして聞かうと努めた。

『そこがそれ公儀から何人となく隱密が入り込んで居るから、すぐに先方には通ずるのだな』

『左樣。鵜の目鷹の目で探してゐるが、隱密らしい浪人といふのが只二人捕へた丈だからな！』

『何しろ、餘程俊敏な人間ばかり撰んでよこしてあるから、まるで隼のやうなものだ』

『しかしだな、いくら公儀の隱密でも、今ごろ我々が、お上の秘密の御云附けによつて根來寺へ急ぐといふことは、まさか隱密等には判るまいよ』

『そりや無論だ。はゝゝ……』

最う判然と五左衞門には、この二人の紀州藩士の使命が判つた。根來寺へ夜ひそかに急ぐのであるから重大な用事である。口頭の用であるか？ 文書の用であるか？ 恐らく文書に認めた物を携帶して行くものであると想像をした。

『一つ冒險だが……紀州を脫走しても好いだけのことは探つたから、この二人を斬つて根來寺へ持參する秘密文書を奪つてやらうかと大膽なことを考へた。

五左衞門はまた畝に沿ふて、二人の後を追ッ駈けた。風の餘りない夜であるから、跫音を踏むカサコソと微く音が耳へ入つたらしい

『何の音だ？』

と、その一人が立止まつて振返つた。

家庭

家庭メモ

▲お風邪に生姜

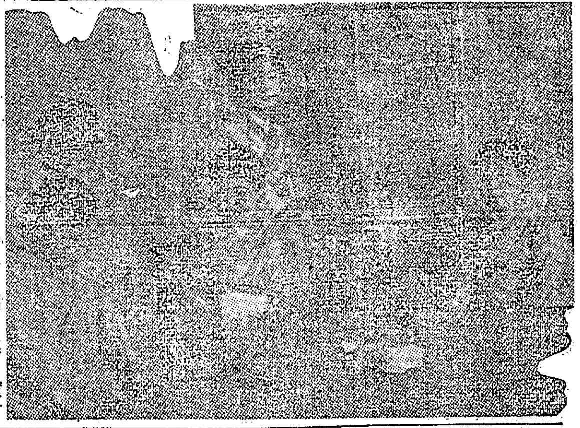
風邪をひいて大して發熱もしないのに咽喉部がいたんで仕方のないときは生姜を大根おろしでおろしてその汁と共に布につゝんで咽喉部を濕布するとなほります

何故に結婚前の女性が不良と言ふ烙印を押させたか？

……娘持つ親達よ、不良狩にめざめよ……

愛が足りぬ—理解が足りぬ

過日帝都の警視廳當局の不良狩りは被檢擧者四千名といふ莫大な報告を世の親達にあたへて第一階程を終り、いよ／＼第二期に入つたかの觀がある。兎に角當局の方針としては未だ／＼この種不良の徹底的撲滅まで斷行するであらう。これは不良に恐怖をあたへるものでなく、反省といふ心の鍵をあたへるのであつて、取調等も、訓戒主義を以て臨み、ひたすら當人の改悛を求め寛大な處分方法をとつたのである。その內には女學生もあり、男學生に喰ひつく女給もあらゆる層にわたつて、その內面が曝露された。不良の女學生―結婚前の女性にいまはしい烙印をおされる迄の經路をさぐると必ず親兄姉もしくは家庭全般の環境から出發してゐる事は、係り警察官の一致した見方である



ではどのやうにして彼女をして不良になさしめたか？親や兄姉の誤つた主觀から、自分の娘又は妹の內藏してゐる性格、才能、智力を無視して、親自身の理想とする鑄型にはめ込まんとして本人の好まぬ學校へ入學させ

本人に適さぬ學業を強ひて後、一切を學校にまかせ、自分自らは能事足れりと放任しておく。本人はいやな授業を強ひられる餘り家庭をいつはり、學校の目をぬすんで、學校を破り、彼女等が最も容易に求められる享樂をたのしむ。しかして不良群の第一歩に近付き斯くては盛り場を漁りとする不良分子の好餌となり夜間おそく造男と出歩き、つひにその誘惑に乘つて、最後には退ツ引きならぬ破目に陷るのである

然し 彼女等は最後迄家人を僞らうと計るので、容易に氣付かぬ、氣付いた時には娘若しくは妹の身が取返しのつかぬ墮落の淵におちた時である。それは今度の檢擧事件で、身柄を引き取りにまた親達が揃ひも揃つて「家の娘に限つて絶對そんな事はありません」と未だ娘の不行跡を否定してゐるのでもわかる

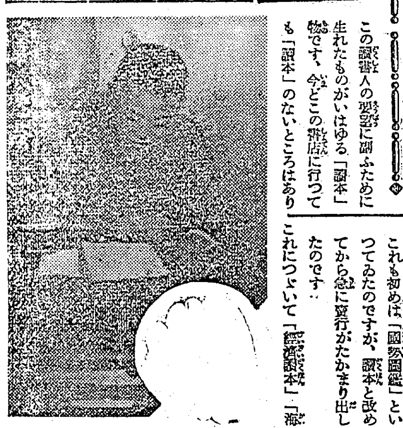
親馬鹿といはふか兎に角學校へ行つて授業を受けてゐるとのみ思ひ込む家庭の多いのには全くこまりものである。學校と家庭と緊密な聯絡をとり絶えざる監視正しき指導、優しき理解、溫かき抱擁力、年頃の娘もつ家庭に映かせぬ要素は泉のごとき愛である

「讀本」物全盛

この頃の讀書傾向

國民の知識慾は紙飢饉を征服する、戰線は時局物を主として怖ろしい程の勢ひで氾濫してます率直にいつて娯樂本よりも何かまとまつた知識を得たいといふ慾求からのものが多く、こゝに以前の讀書傾向とちがつた相貌を示してゐます、またある傾向を強つた思想物よりも現在の體系を知らうとする慾求に添つたものが多い、一時

流行した左翼ばりのものよりも肩のこらないわかりやすい本が求められるやうになりました



この讀書人の要望に調ふために生れたものがいはゆる「讀本」物です、今どこの書店に行つても「讀本」のないところはありません「讀本」といふ小學生の時分から使ひなれた標題をつけたのはまづこの現代の讀書階級の心理をつかまふとしたものです「讀本」の最初のものは矢野恒太氏の「國勢讀本」でした、これも初めは「國勢圖鑑」といつてゐたのですが、讀本と改めてから急に賣行がたかまり出したのです

これについて「經濟讀本」「海軍讀本」があらはれ、つひに今日の「讀本時代」を現出したのです

讀本は今やあらゆる種類にわたつてをります家庭、園藝、趣味、娯樂等々「讀本」のないものはありません、昔は「入門」とか「手引き」などといふ語を用ひたものまで「讀本」によそほひをかへてあらはれてゐます、これらの現代人の常識をやしなふタテとなる讀本の種類はめぼしいものだけをひろつても二百七十餘種の多きにおよんでます

著者も政治家、文士、學者とあらゆる階級にわたり、偉觀を呈し價段も安いのは卅錢から高いのは二圓五十錢どまりで、五圓といふのもあるがこの點も現代人の購買力にふさはしく出來てます

まだ／＼この讀本は刊行されるものと見られてますが、殆どその知識をあらひつくした今後は裝飾をかへ、著者がかはつてあらはれてくるものと思はれます

時間を認識せよ

氏家壽子

未曾有の難局を切り抜ける種々の對策が講ぜられ、家庭にあつては「生活の合理化」がしきりに唱へられてをります、この際浪費の廢止、衣服や食物の節約、無駄は除くも勿論結構ですが時間に對する正しい認識をもつ事は特に必要です、私は家庭內の仕事をビヂネスとそれ以外のものとにわけて考へてをります、お掃除や鍋あらひ、炊事などはビヂネスで、これは出來るだけテキパキと順序よく行つて能率を上げる事が必要です、家庭の仕事といふと朝から晩までコセ／＼したもの、連續のやうに考へられますが、仕事をテキパキとすると共に餘つた時間を家族の精神生活に利用したいと存じます。

◇

家庭勞働には產業界におけるごとく生產過剩といふことは決してありません、で、家庭の日課表をつくつておいてそれによつて仕事をするのは大變效果的でぜひ皆樣におすゝめしたいものです、日課表は一つの仕事につきこれは大體何分間かゝるだらうといふやうに日々の仕事を當はめ、その間に適當な餘裕時間を入れる事です、さうすればあいた時間は後の仕事に追はれることなく適當に利用出來るわけです、お金を使ふのに豫算が大せつであると同樣に仕事にもちやんとした豫定がひつ要です、それから毎日しなくてもいゝが、一週間內には濟ましたいといふやうな仕事があります、たとへばつくろひ物とか、お洗濯、手紙を書くこと、買物、訪問で、これらも割當てゝおきさへすれば大體片附けることが出來ます、要するに時間をもつと活かして使ふことが大切です。

日支アリヤコリヤ物語

支那人の惡食

支那では鳥類は言ふまでもなく野禽もまた盛んに食膳に上るがもつとも普通なものは家鴨、ウヅラ、ガ、キジ等で中にも北京の家鴨は肉軟かく美味なるを以て有名である、それはテンカモといつて暗所に入れ込めて人が嘴をひらいて高粱を給して育てるのださうである。鳥類も亦肉のみならず雞冠、卵、水禽の蹼、雞脚等は賞用ひられ殊にウヅラの脚肉、テン鵝の舌などは珍味として賞美されてゐる

顏の洗ひ方で吹出物ができる

石鹸や洗粉をすつかり洗ひ落して下さい

適當なる洗顏は四季を通じて美容の基礎工作となりますが、これから春先にむかふ時にあたり餘程御注意なさらないと却て

吹出物の原因を作ることになります、まづ清潔に……といふ點からは良質の石鹸を泡立てゝ使ふのが一番ですが、油氣の少い方は洗粉になさる方が安全です石鹸や洗粉を使ふ場合、とかく朝の洗顏の際など、寒いまゝに濯ぎを充分にしない事が多いですが、之は非常に肌を害し、春先になつてひどい結果を招くことになりがちです、殊に洗粉は毛あなの開いてゐる方には、その毛あなの中に入り込んだまゝあらひ去られないで

のこりやすいものですから、必ずすゝぎを充分にする事です、水は水道ならそのまゝで結構ですが、井戶水の硬水を用ひる時は硼砂一つまみを入れて軟げてお使ひください、なほ最後に冷水を洗面器に張つてゆるんだ皮膚を緊張させ、同時に水の中で眼をひらいてあらひますと、あらつたあとの氣分がすがすがしく、寒さへの抵抗力もつきます（野口比奈さんのお話）

お手柔かに願ひます

過渡期のス・フの取扱ひ

過渡期にあるステープル・ファイバーは人造纖維だけにいろ／＼の缺點があることを否定出來ません殊にぬれると強度が非常に低下しますのでせんたくの上手下手はス・フ製品の強度維持力に大きな影響があります、日本ス・フ協會の研究の結果によりますとこの製品の取扱ひの第一要件は手荒な事をせぬ事、形をくづさぬ事ですが、家庭におけるせんたくや染め抜き、シミ抜き……などに當つては次のやうな點を御注意ねがひたいものです

一般洗濯

（イ）なるべくぬるま湯を使用する事、熱い湯はセルと同じ生地のためにいけません

（ロ）粗惡な石鹸は生地を害しやすいのでなるべく遊離アルカリの少い石鹸（例へばマルセル石鹸）が適當です

（ハ）せんたく板は一切使用なさらぬ事、振洗ひか、または輕くもんでよごれを落してください、まる洗ひの場合でもつまみ洗ひの場合でも板の上でやはらかい毛ブラシを輕く使つて、よごれを落してくだされば結構です

（ニ）せんたく後の水洗ひはたびたび念入りにしてください

（ホ）絞は半絞程度が結構です（註）派手な色模樣もの等は半絞りの後、かわいた布と共にまき取つてはやく水分をのぞけばよし

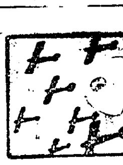
（ヘ）乾燥は成るべく強い日光を避けて自然乾燥によつてください もし火力を用ひる場合は強い熱氣にあてぬやうにする事

◆染め抜き 普通の場合と同樣揮發油でかんたんにおちます

◆シミ抜き 脂肪纖維に揮發油、石鹸液（例へばマルセル石鹸液）または市販シミ抜き劑をふくませて、輕く抜き取つていたゞきたい

◆アイロン掛け アイロンかけは毛織物のやうにタオル、綿布等の中かわきの布を生地の上において成るべくかるくかけてください

◆保存 保存の心配は純ス・フ織物ではありませんが、混毛のものは必ずナフタリンを用ひていたゞきたい



（新興映畫上映及上演）

軍國海軍小說

愛慾非常線

寺崎洋々洲作

松村秀彥畫

……No.一三二……

失敗（八）

彼は語らなかつたが署長も實際無念の樣であつた。

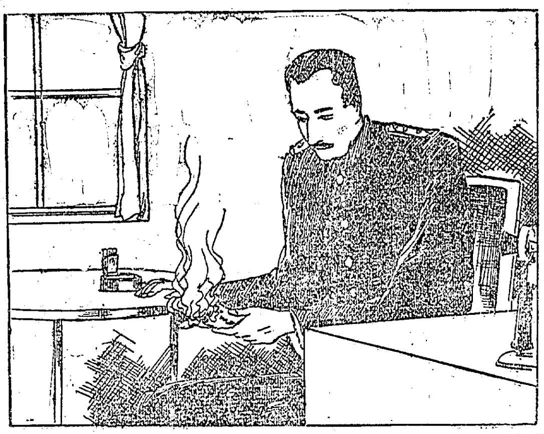
『署長……』

と起ち上つた部長は血相を變へて

『實に昨日の失敗は免職されても文句は無いのですが其處の處を御寛大に十日で無くば五日丈け御待ち遊ばして』

『不可んと云ふたらクドイ男だなア』

『でも御座いませうが他人の手に捕縛させるのが、何んとも殘念な事で御座いますから、特別の御詮議を持ちまして夫れでは今日以後三日間丈けでも御猶豫遊ばして下さいまし、新納一生のお願ひですから』



『夫れは多年功勞の有る君だから、左樣して遣り度いが、僕の眼から見れば、迚も君の手腕では再び失敗を繰返すに過ぎまい僕の勸告に從いなさい』

稍暫らく腕を組んで考へて居た新納部長はホッと息を吐き

『夫では重ねて願ひませんが萬一明日にも私が山田を捕縛致しましたら署長どうなりませう』

彼の眉毛は此の時ピリ／＼と動いて署長の返事を片唾を呑んで待つた。

『ハ、、妙な事を云ふねえ、其の時こそ本職は君の勞を多とし、て無論復職をさせるが要らぬ心配はせん方が良いよ』

『お言葉に從ひます』

と勢ひ良く立ち上つた新納部長は

『一寸お待ちなすつて下さいまし』

と、此の室を出たが暫くして一葉の紙片を署長に渡し

『では當分お眼に掛りませんが署長にも御機嫌好く……』

『ウム、君も自重し給へ』

『はい……』

起ち上つた新納部長は二度ばかり署長に向つて頭を下げた後、勢ひ良く此の室を出たが刑事室には入らずして直に表へ出て行つてしまつた、後見送つた宇野署長は新納部長が置いて行つた紙片を擴げると

病氣靜養ニ堪ヘズ候ニ付本日限リ辭職仕リ度、及御屆候也

六月一日　新納勝太郎

署長殿

チット見守つて居た署長は

『馬鹿で居ろよ新納……』

墨痕鮮かなる一片の辭職屆に對し恰も其の人に物語るが如く呟いた署長は懷中からマッチを取り出して件の辭職屆に點火すると忽ちの中に燃え盡くして其の灰燼は署長席の附近に散つた

『新納は當りを何處へ付けたらう』

と、獨語した署長の面には此の時微笑が浮んだのである。

新納部長が辭職してから三日は夢の如く過ぎ一週間も束の間に去つたが未だ山田の捕縛と云ふ語は耳にしないが聞く都下の新聞は警察無能を叫び出して折から更迭した總監が從來愛犬家の不平でもあつた畜犬の口はめを撤したので日頃皮肉の筆を弄する某新聞の如きは得意の皮肉を以て犯人檢擧の遲きを當コスリて居たが、各署とて決して等閑に附して置くのではない、警察は不眠不休と云ふ有樣で夫れから夫れへと探査の歩を進めて居るのであるが宛から迷宮を辿るが如くで何れも途方に暮れて居るのである。

吉田眼科醫院

平紺屋町　電話六八番

醫學士 吉田久雄

御存知ですか

非常時の色

（國防色）　が……

みやこ染に出來て居る事を——

其他、便利なはかり賣の染料も取揃へてあります。

西村屋藥局

平市本町二丁目　電話三番

旅舍

大幸舘

私は平市出生ですから特に鄕里の皆樣方の爲に御便利を圖ります

主人 比佐棟雄

東京上野驛前（下谷郵便局横通角）

電話下谷六七七番

平病院（電六四一番）

平市警察署側【元共濟病院跡】

院主 醫學博士 鈴木定藏

今般副院長トシテ高橋俊幸氏ヲ招聘シ「內臟外科、一般外科、皮膚泌尿器科」ノ診療ニ從事セシム

內科　院長 鈴木定藏

小兒科　部長 佐藤幾要司

內臟外科・一般外科　副院長 高橋俊幸

皮膚泌尿器科・レントゲン科　部長 鈴木定藏

物理的療法科　吉川元雄

藥劑科　部長 吉本孝平

◎診療時間　毎日午前八時ヨリ午後九時迄

（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）

往診隨時

病室完備…入院隨時【自炊ノ便アリ】

入院料　一日 特等貳圓・一等壹圓五拾錢・二等壹圓參拾錢

御贈答に……

鰹節

鰹節から

多聞屋

志賀盛榮商店

平市四丁目　（電話二一三番）

靴！靴！

祝御入學、御進級には

是非！定評ある履心地のよい

キクチの靴を!!!

おすゝめ致します。

早くも中、小、女學生用靴の特賣開始致しました、何卒御來店下さい。

平驛前通り

菊地クツカバン店

絶對無臭の毎日炭

專賣特許ノ毎日炭は酸化炭素ヲ含マズ本邦唯一ノ衞生經濟燃料デ

▼經濟價値木炭ノ優ニ三倍

▼火付ヨク木炭ト同樣

▼火力強ク火持長ク德用

▼飛火立消ナク水消後再度使用

等ニ特長ガアリマス是非御試用下サイ

製造元 淸水產業株式會社

ミツウロコ 木炭 練炭 豆炭

販賣 市原商店

平市一丁目　電話二四四番

◎十俵以上御註文ノ場合ハ特ニ勉強致シマス

近眼！

老眼！

亂視眼!!!用

メガネ澤山取揃へて御座います

是非!!一度！

御來店下さい

正確ト勉強ノ店

玉屋メガネ店

平市二丁目

▼……事業擴張の爲め

職員採用

一、男女年齡問はず奮鬪の士を望む

一、固定給の外に步合あり

一、希望者は御來談又は履歷書御送附あれ面會日通知す

野村生命保險株式會社

平出張所

平市鷹匠町一番地

鈴木醫院

平市田町　電話五八番

壁の塗り替へは！

カセイン

大谷建材店

平市紺屋町　電話三六六番

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します

入會隨時

平市田町六九

喜多流謠曲仕舞 白土會

電話一二七番

大捷春の！

獨特のコーヒーとWINE

紳士の喫茶店

グリルバツカス

サービス一割（外拜辭）

平市銀座通　TIL702

女店員募集

面白く眞面目に安心して働ける給料制度です

委細は本人面談

歯科口腔外科

レントゲン科

院長 東京歯科醫學士 原精一

電話三一番

平市土橋通

原歯科醫院

食事 喫茶 酒場を 兼ねた

レストラン

サロン

平市田町

電三五二

上原家政婦會

平市紺屋町一一

會主產婆 上原通子

電話二二番

產婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス